

【ご案内】新情報システム学体系化研究・第7回講演会の開催

2015年 9月1日

情報システム学体系調査研究委員会委員長 伊藤重隆

◆講演テーマ：「情報システムサイクルとパタン・ランゲージ」

当情報システム学会において、人間中心の情報システム理念を確立するために情報システム学体系確立を調査研究中であります。第7回講演会は、情報システム学体系の中でエンジニアリングの観点から、効果的な情報システムを企画・構築するための概念や考え方について、情報システム総研の児玉公信氏にご講演頂きます。

具体的には、情報システムの企画、構築を成功させるための次の4つの概念について解説いただきます。それは、・情報システムに対する要求とソフトウェアの仕様に対する要求を分けて考えること、・情報システム構築プロセスとソフトウェア構築プロセスは斜交していること、・情報システムに対する要求が原要求であり、パタン・ランゲージで示されること、・パタン・ランゲージは原要求や設計制約の集積をユーザ側の組織学習として組み込んだ理想的な仕組みであることから成り立っています。そして、この概念の中でパタン・ランゲージの意義や有効性について、あわせて、斜交する2つのプロセスの異なる価値観を調停するISアーキテクトの役割についてお話し頂きます。また、最近の研究、実践成果についての概要もご紹介頂く予定です。

当日は参加者の皆様からの質問や討議を行う時間も計画しています。企業、自治体、教育などの多くの組織の中で役立つ情報や気づきが得られると思いますので、是非、多くの方々にご参加いただけますようご案内差し上げます。

◆日程：10月15日（木）18時～20時30分

◆場所：青山学院大学 総研ビル8階第10会議室

住所：〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

アクセスマップ URL：<http://www.ri.aoyama.ac.jp/contact.html>

◆講師：情報システム総研 代表取締役社長／モデラー 児玉公信氏

◆参加費：情報システム学会会員；無料、非会員；2000円

★参加ご希望の方は、以下までご連絡ください。

<新情報システム学体系調査研究委員会：渋谷照夫>

e-mail: shibu_t4771■kym.biglobe.ne.jp (■を@に置換えてください)

—— (ご参考) 講演者：児玉公信氏のプロフィール ——

(所属、経歴、活動内容)

東京都立大学 (心理学専攻) 卒業。石油元売り、大学受託研究員、鉄鋼系情報子会社を経て、現在、(株)情報システム総研代表取締役社長。技術士 (情報工学部門)、博士 (情報学)。

モデリングとシステム思考に基づく基幹情報システム再構築のコンサルなどに従事。

情報処理学会技術士委員会委員長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員。

(代表的な著書、論文等)

著書

1. 「実践ファンクションポイント法 (改訂版)」, 日本能率協会マネジメントセンター, 2006
2. 「UML モデリング入門: 本質をとらえるシステム思考とモデリング心理学」, 日経 BP, 2008
3. 「UML モデリングの本質 第2版」, 日経 BP, 2011 ほか

訳書

1. Fowler 著, 児玉, 友野, 大脇訳, 「アナリシスパターン」, アジソンウエスレイジャパン, 1998
 2. Marshal 著, 児玉 (監訳), 「企業情報システムの一般モデル—UML によるビジネス分析と情報システムの設計」, ピアソンエデュケーション, 2001
 3. DeMarco and Lister 編, 児玉 (監訳), 「ソフトウェアエンジニアリング論文集'80s —デマルコセレクション」, 翔泳社, 2006
 4. Fowler 著, 児玉, 友野, 平澤, 梅澤訳, 「リファクタリング [新装版]」, オーム社, 2014
-